

ときめき人

Tokimeki bito

心を静め一刀に思いを込める



戸山流居合道連盟直轄登米支部

毎週土曜日に活動。随時会員を募集中です。
連絡先：及川 ☎080(5561)8021



礼の合図で稽古が始まり、日本刀を振り下ろすと静寂の中で空気を切る音が響き、一糸乱れぬ所作が続く。その瞬間、思わず息を止めてしまうような凜とした空間に変わる。「対戦相手と比較せず自分と向き合う。うまくなろうという気持ちより、前回より少しできることを増やそうという気持ちで稽古しています。その積み重ねが今回の結果につながりとてもうれしい」。戸山流居合道連盟直轄登米支部の及川俊彦支部長は、喜びの表情で話す。

同支部は、昨年11月に兵庫県で開催された「第16回戸山流居合道全国大会」に出場。小学生の部優勝、四段の部準優勝、団体の部第3位の成績を収めた。平成17年に、現在顧問の日野康壽さん(85)が設立してから昨年で20周年を迎え、現在会員は

12人。12歳から77歳までという幅広い年齢層で和気あいあいと活動し、3年に1回開催される大会出場と、市内各地域のお祭りで演武を披露するため、日々稽古に励んでいる。

今大会で小学生の部で優勝に輝いた小原安純さん(12)＝米山町的場＝は、2年前に亡くなった元会員の孫で、居合道を始めて2年。「祖父の演武をずっと見てきて、カッコいいと思って始めました。祖父と一緒に活動はできなかったけど、優勝していい報告ができました」と柔らかな表情で話す。

及川支部長は「演武の機会を与えてくれる地域の皆さんに感謝して、日本古来の武道の奥深さを伝えていきたい」と先を見据える。一振りの刀に思いを込め、居合道の魅力を伝え続ける。

編集後記

▼ピアノ再生プロジェクトを取材。さまざまな人の思いが込められたピアノを囲み、参加者が自由に演奏や鑑賞を楽しむ姿が印象的で、心温まるひとときを過ごすことができました。このピアノがこれからも多くの人に親しまれ、地域に優しい音色を届け続けていくことを願います。(添田)

▼ときめき人を取材。居合道を始めたきっかけを聞くと、健康のため、家族の勧め、時代劇が好きだから、とさまざまでしたが、同じ志を持ち楽しく活動する皆さんは生き生きしていました。皆さんを見て、私も習いごとや趣味に時間を使っていこうと決めました。(森田)

▼昨年の取材で、地域によっては絶滅危惧種のウラシマソウと遭遇。ふと思いついて花言葉を調べてみると「遠くの友を思う」とあり、昔を思い浮かべながら読み進めると、最後の花言葉に「注意を怠るな」の文字が。うっかり玉手箱を開けることがないよう肝に銘じて本年度も頑張ります。(高橋)



登米市公式ホームページ
<https://www.city.tome.miyagi.jp/>



登米市メール配信サービス
(防犯や防災、市政に関する情報などを配信)
<https://plus.sugumail.com/usr/tome/home>



登米市公式 LINE
(市政、イベント情報などを配信)
<https://line.me/R/ti/p/%40972tqqam>